

---

# 友だち

ぴか

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

友だち

### 【コード】

N0067Q

### 【作者名】

ぴか

### 【あらすじ】

妖精ぽちやがネットで知り合った妖精に会いに行くよ。彼は何の妖精なんだろう？

ボクは妖精です。

趣味は水鉄砲で人間を驚かせること。

好きな言葉は「すべて水に流してやる」だよ。

特徴は3分間しか水から離れられないことかな。

最近ネットで意気投合した友だちができたから、今日会いに行くんだ。

何の妖精か分からないけど、会ってからの楽しみだね！

彼の名前はゴウ君。

趣味はかじって言うてた。

好きな言葉は「思い出もすべて奪ってやる」らしい。

特徴は寒い冬でもあったかだけど、風の強い日は引きこもりらしい。なんだかこうみると変わった子かも！

でも、楽しみだな

おっと！こんな時間だ！

水筒持った！水入ってる！

「しゅっぱ〜っ！〜！」

この辺りのはずなんだけど…。

「おい、もしかして君は、ぼちゃ君かい？」

うわぁ、赤い子だ！

名前知ってるってことは、もしかして！

「そうだけど、もしかして君がごう君？」

「あー、そうだよ」

ごう君はゆらゆら、ゆらゆら揺れている。

ごう君って落ち着きのない子なのかな？

「はじめまして、ボクぼちゃです」

「はじめまして、俺はごう」

ごう君が右手を差し出してくれた。

ボクも右手を差し出して、握手…じゅっ！

…！痛っ」

「ごめん、力入れすぎたかな？」

「ボクは大丈夫だよ。」

ごう君熱いな。

「ごう君少し散歩しよう。少し先の川のほとりまで」

「あーいいよ」

よし、水筒満タン。

水浴びい〜。

いえ〜い、水鉄砲！

「ふ〜、今日は寒いね。風も強いし。ところで、ごう君は何の妖精なの？」

「……」

返事がない。

「ん？ごう君？」

姿も消えた！

「ごう君！ごう君！」

えっ！さっきまでいたのに何で？

とりあえず、携帯に電話してみよう！

ブルブルっ

がちやっ

「ごう君どこ??」

「キノカゲニイル。キミミズカケタナ。オレハヒノヨウセイダ！コ

口スキカ！」

「えっ！」火の妖精！

あ〜さっきの水鉄砲と強風で木の陰に隠れちゃったんだ。

悪いことしちゃったな。

ん？何だか焦げ臭い。

「ごう君。さつきはごめんなさい。出ておいでよ。もう、水かけないしお互い少し離れて話すのは大丈夫でしょ？」

「あー、木の陰にいたら、回復した」

「よかった」

ごう君が川のほとり近くの木の陰からゆらゆら出てきた。

そして、めらめら後ろの木が！！

「ごう君後ろ！！」

「あー寒かったから燃やしたけど何？」

「山火事になっちゃうよ！！」

「いつものことだよ。ほっといて遊ぼう」

マジ！いやいや、山火事になったら、他の妖精が大変だ。

ボクもここに居れない。消さなきゃ！消さなきゃ！消さなきゃ！

「ボク消すよ」

川の水でじゃっば〜ん！！

ぷすぷす火がくすぶっている。

もう一回。

じゃっば〜ん！

「ぷ〜、消えた」

それが、火の妖精ごう君と1時間くらい話した。

ごう君が風でだんだん小さくなったり、大きくなったりして面白かった。

大きさが変わると、性格が変わるらしい。やっぱり変わった子だったよ。

二人で話しててネットで話してるのが一番だということで、結論になった。

こうして、ボクの友だちに会いに行く日帰り旅行は終了した。

今、自宅に戻ったわけだけど、インターネットのニュースにごう君

の家付近火事があったみたい。  
まさかね。

また、お友だちに会いに行こう！

(後書き)

すみません。話がぼんやり、目的がないまま書いてしまいました。  
妖精がいればいいなと思っていました！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0067q/>

---

友だち

2011年1月11日21時06分発行